



THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU CITY

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790 ORGANIZED : Nov.20.1991



国際ロータリー第2790地区
富津シティロータリークラブ
創立 1991/11/20 RI
承認 1992/1/13

2021～2022年度 第2790地区

ガバナー 梶原 等(千葉RC) 第5グループガバナー補佐 鈴木 荘一(君津RC)

富津シティRC 会長 宮崎 晴幸 幹事 和田 充敏 SAA 阿部 信一

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会場: 日本製鉄技術開発本部(富津クラブ)千葉県富津市新富 20-1 例会日: 毎週水曜日12:30～13:30 最終18:00～19:00

通算 1381例会 2021年10月6日(水)

【点鐘】宮崎会長

【ロータリーソング】ソングリーダー: 栗坂会員

君が代 / ロータリーソング 奉仕の理想



【会長挨拶】宮崎会長



皆さんこんにちは。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され1ヶ月半が休会となりました。

昨年度より猛威を震うコロナウイルスに我々ロータリー活動も再三に渡り妨げられ皆様にはご迷惑をお掛けしておりますがご理解ご協力を引き続きお願いいたします。

さて、今年はオリンピック、パラリンピックの自国開催の効果もありメダルラッシュに沸いた事は言うまでもありません。

報道等により開催が危惧されましたが終わってみればスポーツによる感動を

日本中にもたらせてくれました。

今後のロータリー活動も出来る事からはじめていきますので宜しくお願いします。

本日は米山奨学生のチョウ シュクイさんと世話クラブであります千葉ロータリークラブの宮腰様がお見えになれております。

チョウさんにおかれましては現在千葉大学にて伝統工芸品の振興に基づく地域活性化をテーマに研究されてるとの事です。後程卓話をして頂きますので宜しくお願いします。

現在の状況はまだまだ油断出来る状況ではありませんが少しずつでもポストコロナへ向けての動きが大きくなってきておりますので引き続き感染対策にご留意頂きましてお過ごし頂ければと思います。

本日も宜しくお願い致します。

【幹事報告】和田幹事

10月RCレート 1ドル=112円

2790地区ロータリー財団学友50周年記念行事の案内

世界ポリオデー・祈願プロジェクト詳細案内・環境保全プロジェクト(水辺の清掃)

当クラブの実施は、2022年4月20日を予定。

場所等については、これから検討し決定次第ご案内。

地区大会規模縮小にて10月31日(日)アパホテル幕張ホール登録11:30点鐘12:15

参加者 会長・幹事のみ

ガバナーノミニ(2024-25) 富里RC 寒郡 茂樹氏

表敬訪問について: 各クラブへ状況確認しご案内致します。



【結婚・誕生】

次回例会にて行います。



【委員会報告】：会計→遠藤会計

別紙お配りした会計報告書をご確認ください。

【委員会報告】：会員増強・拡大→栗坂会員

今期の会員増の取り組みとして、ご提示したリストを活用しながら各会員に最低1名の入会候補者を選定頂き、誰がどのように候補者にアプローチしていくのかその実行計画を例会でも議論し進捗を管理していきたいと考えています。今期の目標として最低1名の会員増を掲げて、取り組んで参りますのでご協力よろしくお願い致します。



【例会プログラム/卓話】 同行者：宮腰次郎様 地区米山奨学記念委員会委員, 千葉ロータリークラブ所属

皆さまこんにちは

私は 2790 地区米山記念奨学委員の宮腰と申します。所属は千葉ロータリークラブでございます。

卓話に入る前に一言ご挨拶申し上げます。

さて、先週の台風 16 号による被害はなかったでよろしいでしょうか。これからの時期台風発生が気になるところでございますが、被害が大きくならないことを祈るばかりでございます。

本日は卓話の時間をいただき、ありがとうございます。感謝いたします。

会員の皆様には日ごろより米山記念奨学事業に対する温かいご理解とご協力を頂いておりますこと心より感謝申し上げます。

(公財)米山記念奨学金の主目的は「奨学生の育成」と「寄付の増進」です。

ロータリー米山記念奨学会は 129 の国と地域にまたがり累計 21,600 名以上が卒業し年間事業費は 14 億円にも上る国内で民間最大規模の国際奨学事業です。「ロータリー運動の良き理解者となる」人材を育成するという事業の使命への期待は増々高まり「母国と日本を結ぶ懸け橋」となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれます。そしてロータリー米山奨学生はロータリークラブを通じての日本の文化、習慣などに触れて社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となるのが期待できます。

また、ロータリー米山記念奨学金制度は経済的な支援だけではなく「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて世話クラブの例会に月一度出席しロータリー会員と積極的に交流し国際交流・相互理解を深める共にロータリーの奉仕の精神を学びます。米山奨学金制度の役割は今後更に重要度、社会的な必要性が高まっていくと考えています。

米山記念奨学会の財団法人の設立化の過程では一定の寄付額を会員皆様をお願いし、定期的な金額を送金することを約束することで文科省から「財団法人」という冠を頂けた歴史がございます。米山奨学会への寄付金は 2 種類ご



ざいます、一つは普通寄付金、こちらは日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付金です。半期に1度、会員数分をご送金いただきます。もう一つは特別寄付金です、個人、法人、またはクラブから、普通寄付金以外に任意でいただく寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額に決まりはありません。いつでも、おいくらからでもご送金いただけます。クラブ事務局からご申請いただければ、税制上の優遇措置を受けるための申告用領収証を発行いたします。

一昨年からのコロナ禍で多くの地区会員皆様が本当に大変な思いで事業を展開されていると思います。その中で普寄付金、特別寄付金のご協力誠にありがとうございます。心より感謝申し上げますとともに引き続き変わらぬご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

【例会プログラム/卓話】米山記念奨学生 張 淑怡 (チョウ シュクイ) さん



米山記念奨学生張淑怡(チョウ シュクイ)と申します。現在千葉ロータリークラブに所属しております。本日は発表の機会をいただき誠にありがとうございます。1997年生まれ、出身は中国広東省です。広東は、すごく経済の発展が早いところなのですが、私は都会ではなく、田舎で生まれ育ちました。趣味は旅行と料理と音楽です。特に中華料理が好きで得意です。

学歴ですが、高校は地元の高校に通っていきまして、当時は理系でした。物理や生物が好きでした。

2015年から中国の湖南大学に入り、理系をやめて、日本語を専攻しました。なぜ理系から日本語にしたかと言いますと、言語の学習が好きだということと、当時日本のアニメが好きという理由で、日本語にチャレンジすることにしました。それで大

学に入って日本語を専攻して、大学3年目の時に千葉大学の国際教養学部へ1年間交換留学をしました。大学卒業後、また千葉大学に進学することを決めました。

大学では日本語を専攻しましたので、具体的にどんな勉強なのかっていうと、1年目と2年目は基礎的な日本語を勉強していました。例えば文法だったり、読解だったり、会話の練習だったり作文の練習をいっぱい行いました。大学における課外活動について、一番力を入れた活動としては、ボランティア活動です。当時は学生団体であるボランティア協会に加入して、1年目はメンバーとして、2年目は会長として務めました。ボランティア協会に入るというのは、ボランティア活動に参加するだけじゃなくて、ボランティア活動を運営する立場になるのです。ボランティア協会に加入する理由として、やはり社会貢献を通して、社会と繋がりたいという思いがありました。今振り返ってみると、大変なことはもちろんたくさんあったのですが、いろいろな人と接して、人の役に立って、とてもやりがいのあることだと思います。

募金活動ボランティアだったり、地下鉄案内係のボランティアをやったりして、ユネスコが主催した国際コンファレンスの通訳ボランティアなど多岐にわたるボランティア活動に参加してきました。

次に交換留学の話をしようと思います。2017年から2018年に千葉大学の国際教養学部へ1年間交換留学しました。主に日本語、日本文化について勉強しました。どういう生活を送ったかと言いますと、キーワードとして異文化交流と旅行が挙げられます。

異文化交流のところについては、初めて日本に来て、初めて日本で生活して、あらゆるものは新鮮でした。一番印象に残ったこととして、やはり日本人の他人に配慮するところなんです。ロータリークラブの皆さんも含めて、周りに優しい方が多いと感じています。また、日本文化の体験だけではなく、世界各国の留学生と一緒に授業を受けたり、ご飯を食べたり、遊んだりして、新しい刺激を受けまくった毎日を過ごしてきました。

この経験を通して一番大きな感想は、文化はそれぞれの国によって違うのですが、コミュニケーションを通して、お互いの文化をちゃんと理解すれば、みんなは仲良くなれるということです。

私自身はとても旅行が好きなので、当時友達と一緒にいろんなところへ旅行に行きました。例えば、成田の新勝寺で初詣をして、千葉県の銚子に初日の出を見に行きました。夏に北海道へ行って、ラベンダー畑を楽しめて、ジン

ギスカンをいただきました。旅行を通して、自分の視野がすごく広がったと実感して、今後も、コロナが収まったらいろんなところへ行きたいと思います。



次にスピーチコンテストの話を紹介したいと思います。大学4年目の2019年に全中国スピーチコンテストに参加しました。このスピーチ大会には、学校内の選抜、地域大会、最後の決勝戦、三つの段階がありますが、学内予備も含めると約1万8200人余りが参加した大規模イベントです。自分の日本語能力を高めようと、チャレンジしてみました。振り返ってみると、私はすごくチャレンジ精神があるなあと改めて実感しました。

試合は、地域大会でまず優勝を取り、その後行われた決勝戦に出場して、最終的に審査委員特別賞（全国8位）という賞を得ました。そのコンテストが終わった約1週間後の間に、日本文化体験や企業見学の機会を設けてくださいました。

その中で一番印象的だったのは、日本語スピーチコンテストに出場した中国の選手と、中国スピーチコンテストに出場した日本の選手の交流会です。やはり中国語を勉強している日本の若者と交流でき、中国に対してこれだけ興味を持ってきて、さらに中国語を精通してくれて、嬉しい限りです。ここでやっぱり言語の力、異文化交流の力を改めて実感しました。

また、日本を代表する有名な建築家隈研吾さんとの交流も設けてくださいました。隈研吾さんはオリンピックの国立競技場の建築デザインを担当した方です。ご本人と直接会えて、すごく興奮しました。その時一緒に、エレベーターに乗ったのですが、隈さんは私のすぐ隣に立っていて、そこで「私は隈さんの作品大好きです。よかったらサインいただけないでしょうか？」と勇気を出してお願いして隈さんのサインをいただきました。

何よりも大切なのは、一緒にこの試合に参加した選手たちとすごくいい縁があって、今でも連絡を取っています。

次に大学院です。今取り組んでいることについてご説明したいと思います。先ほどご紹介したように、今はデザイン文化計画研究室に在籍しております。



日本を代表する有名な建築家隈研吾さんとの交流

デザインというのは、生活をより豊かにするための科学と実践であることです。長い歴史の中で、人々は生活するために、いろんなことを習得して、仲間に共有して、そして次世代に伝達する、そんな中で文化が形成されます。よって、生活を豊かにするのに大切なのは文化を知る、生活を知るところです。そこで、うちの研究室の理念として、「野に出て生活を学ぶ」ということが掲げられています。簡単に言いますと、文化振興や地域活性化に寄与するデザイン活動をしています。2019年12月に行われたワークショップなのですが、鹿児島県に伝統的な工芸品龍門寺焼きという陶器があります。この陶器の破片は普道路の補修に使われましたが、現在そういう使い方がされていなく、ただのゴミ扱いになっています。そのため、破片の新たな活用法を考えて、最終的にアクセサリーにして、現地でワークショップを開催しました。

次に、千葉市内陸部外国人向けの観光マップ作りというプロジェクトです。これは去年の9月から今年の3月にかけて千葉市観光プロモーション課からの依頼を受けて携わりました。コロナ禍の前に、千葉市の沿岸部に遊びに来る外国人観光客が多く、沿岸部までに来てくれた方に対して、内陸部への観光を誘致します。そのために、内陸部の魅力を伝えるマップを作成しました。今実際に発行して使用されています。

最後に、千葉県南房総市地域活性化プロジェクトですが、近年、南房総市は地域過疎化の問題が深刻です。そこで、本プロジェクトは、南房総市白浜地区における生活文化の中の食文化を対象に、とりわけ白浜地域にて長きに渡り生産されるそらまめを中心に文献調査と現地調査を展開しました。地域資源の再発見・再認識した上で、地域活性化に資するそらまめのパッケージデザインを提案しました。

最後には、自分の将来像についてお話ししたいと思います。

将来は、文化と人間の多様性を理解し、尊重できる人。奉仕の精神を持ち、社会に貢献できる人になりたいです。

これを実現するために、もちろん勉強し続けることが大切ですが、先入観を持たずに交流することも大切なので、引き続き多くの方と交流したいと思います。

また、社会貢献に関して、来年から卒業して就職することになると思います。ちゃんと仕事の基礎を身につけて、自分のスキルを磨き上げていき、社会に価値を作っていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました！



【ニコニコ BOX】

地区米山委員宮腰次郎様：本日は奨学生の卓話の機会をいただき誠にありがとうございます。

宮崎会長：本日は張様、宮腰様ようこそいらっしゃいました。張様におかれましては貴重な卓話ありがとうございました。これからも学業頑張ってください。

和田幹事：本日は宮腰様、張様ようこそ富津シティへ 卓話頂き有難うございます。

渡邊様：久々の例会、皆様元気で何よりです。宮腰様、張様本日はありがとうございました。

窪田様：本日は張さん宮腰様、例会にお越し頂き有難う御座います。卓話宜しくお願い致します。

秋山様：本日は米山記念奨学会から宮腰次郎さん、奨学会より張淑怡さん、コロナ禍遠路ご苦労様です。

阿部様：張さん、宮腰さんようこそ！張さんの今後の御活躍を祈念致します。頑張ってください。

伊藤様：張さん本日は有意義な卓話ありがとうございました。コロナ禍で大変な学生生活だと思いましたが頑張ってください。

遠藤様：張淑怡さん、本日は卓話ありがとうございました。

江藤様：張様、宮腰様、本日はありがとうございました。

栗坂様：張さん、本日は卓話ありがとうございました。留学を通して本当に素晴らしい活動をされていると感じました。これからも日本と中国の友好のかけ橋となって下さい。よろしく申し上げます。

立石様：いつも大変お世話になっております。本日は米山記念奨学生卓話をして頂きました。張淑怡様ありがとうございました。地区米山奨学記念委員会宮腰次郎様ありがとうございました。

【出席報告】クラブ管理運営委員会：立石会員

区分	会員数	出席	欠席	Make up	出席率
今回(10/6)	12	12	0	0	100%
前回(7/14)	12	9	3	0	75%